

令和6年度 学力向上に係る効果的な取組事例

「主体的に学びに向かい対話や協働クラウドの活用によって思考を
深め自分の成長を実感する児童の育成」

久喜市教育委員会・久喜市立江面小学校

本校では、研究主題を上記のとおりとし、仮説を、

友だちとの対話や協働を軸にした学びを、クラウドを活用することで促進していけば、児童は学ぶことの楽しさを味わい、成長を実感し、生涯にわたって学び続ける人になるだろう。

とし、研究を進めてまいりました。2年間の取組の一部をご紹介します。

1 事例1 楽しい学びづくり(クラウドの活用)

本校が目指す「楽しい学び」＝学習中や学習後に、その教科等がもつ楽しさや満足感、達成感等を感じ、「もっと学びたい」と思う学び



- ・タブレットや大型提示装置を活用し、学習したことを共有したり、プレゼンの際に、自分の作品を提示して、友達に紹介することができました。
- ・自分が学んだ内容を友達と共有することができるので達成感が得られ、学習にも意欲が高まります。



- ・タブレットを活用した学習を円滑に展開するため、1年生のうちから積極的にタブレット学習に取り組ませ、タイピング等のスキルを高めていきました。
- ・今ではタブレットを使っていろいろな学習に取り組むことができるようになりました。

2 事例2 学びを楽しむ児童の育成(対話や協働)



(児童の声より)

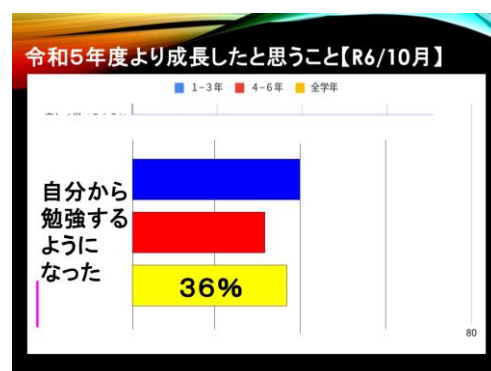
- ・自分は持っていなかったものを知ることができるようになりました。
- ・相手が知らないことを教えてもらえます。
- ・友人との仲がさらに深まります。
- ・意見を交換することで、更に考えが深まります。

3 成果と課題

(1) 成果

・「自ら勉強するようになった」「楽しく学べるようになった」児童の割合が増え、自分から意欲的に学習に取り組む児童が増えました。

・クラウドを活用することで、友達と自由な交流、学び合いができるようになったことで、さらに友達との仲が深まったり、学習することが楽しくなったりしたと感じる子が増えました。

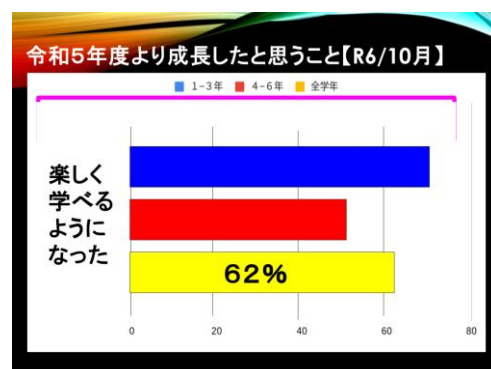


「楽しい学び」をつくる条件

★クラウドの活用

- ① 友だちと自由な交流、学び合いができること
- ② 単元の目標（できるように成って欲しいこと）を明確に示すこと
- ③ 児童一人一人の学習状況を的確に把握し、学
⇒ 教師一人一人が、児童の学びを見取るスキルやAIやICT活用のスキルを磨く。
- ④ 児童同士で深い学び合いができるように、教
⇒ 個人・組織での教材研究や環境整備を進めると共に、楽しい学校（学級）づくりのための生徒指導の充実を図る。

不易!



(2) 課題

- ・自主学習中心にしたことで、学習量が減った児童がいるのも事実。すべての児童が自主的に学習量を増やしていくための手立てが必要。
- ・対話によって学びを深めるためには、対話スキルの向上が必要。効果的に対話スキルを向上させる手立てが必要。